

キャリアアッププログラム2020（3学期）講座シラバス

【ベーシック科目】

科目名	中級 法人税	
	グループ経営には税務の理解が必須！	
受講対象者	大企業のみならず、中小企業においてもグループ経営は必須となってきています。よって会社経営者等は一般の会計税務の知識のみならず、会社合併・会社分割等の組織再編、連結納税制度等に関する大枠の知識を理解しておくべきこととなります。さらに海外進出も視野に入れている場合には国際課税についても同様です。主にグループ経営を行っている（これから考えている）経営者の方、経理担当者向けの講座となります。	
講座概要	事例を用いながら、グループ経営に必要な法人税等の主要な項目を学びます。国際課税制度も含まれますので、充実した講義内容となります。	
到達目標	経営者や経理担当者の方にグループ経営のヒントを得ていただくことが目標です。よって、質疑応答の時間も十分に設けます（授業内・外）	
授業計画 および開講日	第1回	グループ経営とは？
	第2回	グループ法人税制や連結納税について知ろう
	第3回	会社合併・会社分割等について知ろう
	第4回	海外進出の形態と税務について知ろう
	第5回	節税につながるヒントとは
	第6回	グループ法人の税務調査について知ろう
授業の形式	講師による講義（質疑応答含む）とディスカッション	
授業の進め方	オリジナルのレジュメ（講義資料）を配付します。	
教材などの追加負担	教材の追加負担はありません。	
受講者へのメッセージ	国税局職員・税理士の経験を活かしてできるだけ多くの事例を交えて説明したいと考えています。必ずしも法人税の知識はなくても大丈夫です（第1回目の講義中で法人税のしくみの大枠をお話しします）。	
講師紹介	<p>福田 正太郎（ふくだ しょうたろう） 経営学科 准教授</p> <p>広島市出身。立命館大学産業社会学部卒業後、国税専門官13期生として広島国税局に32年間勤務。辞職後、広島市内の税理士法人に税理士として勤務していたが、2020年より広島経済大学の准教授に就任し、経営学部で簿記や管理会計を担当している。また、大学院では税理士資格の取得を目指す学生に税法の指導も行っている。</p>	